

＜AEOLUS と「市販 CFD ソフト代表例」の比較表＞

比較項目	AEOLUS	市販 CFD ソフト	相違点の評価
一般的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・流体特性対応特化型数値流体解析ソルバー ・弊社 AA&S の自社開発ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・有限体積法汎用熱流体解析ソフトウェア ・使用実績世界水準の CFD ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・AEOLUS は燃焼等の特定の問題に特化して開発される。 ・市販ソフトは多様な問題に適用可能な汎用性を備えていると言われているが、御社業務に対しては必要十分か？ ・AEOLUS は自社開発のため、ユーザーのニーズに合致したカスタマイズが容易に可能である。
数値解法	CIP+GCUP 法	SIMPLE 法等	燃焼解析のように急激な密度変化のある計算では、状態方程式と整合的に解く GCUP 法を採用する AEOLUS が有利である。
燃焼反応モデル	多段反応モデル（現状は 2 段反応式）による非定常解析	時間平均モデル <ul style="list-style-type: none"> ・渦消散モデル ・燃料混合分率化学平衡モデル ・層流火炎片モデル 	時間平均モデルは炉設計等の伝熱解析には有効であるが、NO _x や燃焼安定性の検討には非定常解析（AEOLUS は可能）が望ましい。
計算メッシュ	非構造格子に拡張可能	非構造格子に対応	複雑形状をモデル化するには、非構造格子が必要となる場合もある。

CAD ソフトからの データインポート	専用のデータ変換 プログラムで対応	プリプロセッサ GAMBIT で対応	AEOLUS では御社専 用インターフェース を開発・使用するの で、ユーザーのニーズ に特化させることが 可能である。
計算速度	並列化による計算 速度の高速化カス タマイズ可能	並列処理に対応	AEOLUS ではユーザ ーのマシン環境に応 じた最適の並列化が 可能である。